

「伸びしろ」があるうらやましさ

校長 渡辺 隆

この2学期、地域の皆様方には、当校の生徒を温かく見守っていただき、ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、毎日の生活を通して、人を思いやる心、困難に負けずがんばり抜く力などを身に付け、大きく成長してくれたと実感しております。皆様に、心から感謝申し上げます。

2学期の子どもたちは、体育祭、チャレンジウォーク、音楽祭等の行事をはじめ、いろいろな場面で、実に豊富な体験をすることができました。この「青中だより」の10月号、11月号には、それらの経験を経た子どもたちの心の様子を載せ、皆様にもお知らせしたところです。ここでは、子どもの姿をご覧になった保護者や地域の方からも感想をいただいておりますので、紹介します。

<体育祭>

- ・入場行進が、先生方も生徒もチョコレート色で、暑い中、練習をけなげに頑張ったなあと思うと、涙が出そうになりました。
- ・さすが中学生！しっかりした迫力のあるものが見られ、その一生懸命さに、こちら思わず重い腰を上げ大声援を送ることになっていました。

<音楽祭>

- ・合唱は、1年から3年までどのクラスもとてとても上手で驚きました。特に、男の子は、恥ずかしさもあるでしょうが一生懸命歌っている姿はカッコ良かったです。
- ・学年合唱を聞いて、たった3年間で、これだけ成長するものなのかとびっくりした。「大地讃頌」の歌声の迫力、真剣な顔つき。一生懸命な気持ち伝わってきて、胸にこみ上げるものがあった。

「子ども」って、すごいですね。彼らは、私たち大人よりも、はるかに素晴らしい「向上心」と自分を変えていく「柔軟さ」をもっています。もちろん、失敗やトラブルはたくさんあります。逆に、今の発達段階では、失敗することが大切なのだとさえ思っています。そして、それを機に立派な大人に成長していく大きな「伸びしろ」が、子どもたちには与えられているのです。

成長する子どもたちを、リアルタイムに体感できること、これは、学校教職員の醍醐味です。だから、私は、子どもたちにも感謝したい。

「みんな、私の夢をかなえてくれてありがとう」